

ひとつの「学び」から得た発見が、知の世界を広げてくれる出発点となります。どのように学びを広げていくか、教える人と学ぶ人、それぞれの学門分野について学びの出発点とこれまでをお聞きし、そのヒントを探してみました。

ちのかいたく

「知」の開拓

教える人
岡内 三眞先生

担当講座
「シルクロードの東西交流」
「シルクロードの遺跡と伝来品」
「シルクロードの考古学」

実体験を交え、
シルクロードの魅力を語る岡内先生



プロフィール

早稲田大学名誉教授。早稲田大学第一文学部卒業後、京都大学大学院文学研究科考古学専攻博士課程修了。早稲田大学文学学術院教授を2013年に退官。シルクロード調査研究所前所長。著書は『シルクロードの考古学』(早稲田大学)など。

岡内先生の 学びの提言

著書紹介



『シルクロードの考古学』
岡内三眞 編著
早稲田大学文学学術院
発行

西のコンスタンチノープルから東の正倉院まで各地の遺跡や遺物、歴史を図入りで解説する。現地にも携行できるA5判サイズのカラーで作成。

おすすめ図書～私の本棚から～



『シルクロード入門』
長澤和俊 監修
東京書籍 発行

長年にわたってシルクロード調査と研究を実践してきた著者によるシルクロード入門の決定版。幅広い分野を扱い、図や写真も多く読み物としても推薦の一冊。

が つてシルクロードのオアシス都市が点在していた新疆ウイグル自治区で、20年以上発掘調査を行ってきた岡内先生。「東西交流の長い歴史やさまざまな交易品の往来は、日本ではあまり見られないもの。そこに惹かれました」とシルクロードに魅了された理由を語ります。先生が、講義で心がけていることは主に2つ。まず自分の実体験を交えながら、人と物と文化の東西間の交流について分かりやすく伝えること。もうひとつは、受講生が将来現地を訪れた際に役立つ情報を提供することです。講座では先生手作りの教材が配布されるほか、普段はなかなか目にすることができない出土品や参考図書などが回覧されることもあります。貴重な経験が得られる場となっています。

また講義のほか、時々実習や実作授業も行われます。当時は高価な交易品だったガラスのトンボ玉よりもそのひとつ、「メンボタニア」やエジプトで製作され、シリアや地中海、アフガニスタンを経て東方に伝わったトンボ玉を作成する作業です。色ガラスを溶かすためにガスバーナーを使うので、火災報知機を気にしなければならなかつたり、一人ひとりの時間配分を考えたりなど結構大変なんですね」と先生は苦笑気味ですが、受講生には大好評でした。

その後、シルクロード関連の展示があると、受講生と博物館や資料館などに見学に行くこともあります。「唐の時代になると、西方にも運ばれた唐三彩が日本にも遣唐使によって入ってくるようになります。講座を通じて、日本と中国には昔から密な交流があったことを知れば、中国に対する偏見も解けるのではないかでしょうか。シルクロードの授業は直接生活に関連するものではありませんが、そうした観点からも世界観や人間性を高めてもらえた嬉しいですね」今後の抱負についてお聞きすると、「近い将来、受講生を新疆に案内したい」とのこと。「シルクロードの要衝として栄えた場所で、現地の空気を吸って、その立地や環境、雰囲気を存分に味わってほしい。講義や映像だけでは分からぬこともあります。だから」と笑顔で新疆訪問の計画を語ってくれました。

“現地調査の経験を踏まえ 東西交流を分かりやすく解説”

“シルクロードへの憧れが

学びの意欲をかき立てる

“

楼蘭更紗のハンカチ、ラピス・ラズリと、
講座で作成したトンボ玉



学ぶ人
島岡 育代さん

(2011年入会)



「シルクロードのことを知れば知るほど、
心が豊かになります」と島岡さん

島岡さんの 学びの履歴書

●受講科目 (★は岡内先生の講座)

2012年 シルクロードの考古学
—ユーラシアの交易都市— ★

シルクロード伝来の
ガラス玉 ★

2013年 シルクロードの考古学
—遺跡、遺物でみるユーラシアの東西南北交流— ★

シルクロード伝来の文物 ★
シルクロードの歴史を探る ★

2014年 シルクロードの遺跡と
伝来品 ★

シルクロードの東西交流 ★

「シルクロードには大きな口マジンを感じています」と、島岡さんは目を輝かせます。興味を持ったきっかけは、「楼蘭の美女」。タリム盆地で発見された約3800年前のミイラで、20年以上前に日本の博物館でも展示されました。島岡さんはその美しさに魅了され、砂漠の中を作られた国・楼蘭や、「さまよえる湖」と呼ばれるロブノールにも関心を持つようになりましたが、仕事が忙しかったため本を読む時間もなく、そのまま時が経過。数年前に岡内先生の講座を知り、当時の気持ちが蘇ったことから、すぐに受講を決めました。

毎週の授業をとても楽しみにして

いる島岡さん。「授業には先生の発掘の体験が盛り込まれることもあり、本当に充実しています。資料も盛りだくさんで、手の込んだもの。毎回準備に大変な労力を費やしていると

思います」また、以前先生の引率で博物館に行った際には、先生が実際に発掘した出土品を見学したり、直接丁寧な説明をしてもらつたりと、「贅沢で幸せな時間」を過ごすことができただそうです。

受講を始めてから、じ自身の生活にも変化があつたとのこと。「シルクロード沿道の地域の報道や情報に敏感になりました。また、以前は口マンを追いかけるだけだったのに、ニュースの見方や物事の考え方を変

いる島岡さん。「授業には先生の発掘の体験が盛り込まれることもあり、本当に充実しています。資料も盛りだくさんで、手の込んだもの。毎回準備に大変な労力を費やしていると

思いました」また、以前先生の引率で博物館に行った際には、先生が実際に発掘した出土品を見学したり、直接丁寧な説明をしてもらつたりと、「贅沢で幸せな時間」を過ごすことができただそうです。

長い間シルクロードに憧れを抱いた島岡さんですが、「実は現地にはあまり行きたくないんです」という意外な言葉が。「地域によっては石油コンビナートが作られ、都市化が進んでいるところもあるそうです。でも私の心中にあるのは、砂漠や天山山脈などロマンあふれる景色なので、夢はそのままにしておきたい。そこに住む人々にも生活があり、私の勝手な考えだと分かっているのですが」と胸の内を明かしてくれました。

ただ、今後も岡内先生の授業を受け続けたいという思いに変わりはありません。「シルクロードについて新しい知識を得ることで、心が豊かになります。生活も楽しくなります。壮大な計画になりますが、この東西交易路の歴史を一から系統立てて学びたい